

指定管理者評価シート

所管課: 中央市民サービスセンター

施設名称	檜山地区コミュニティセンター	指定管理者名称	檜山地区コミュニティセンター管理運営委員会
指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日	評価対象期間	令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日

	利用者数	収入(A)	支出(B)	収支額(A-B)
平成30年度	45,415 人	5,581,014 円	5,491,922 円	89,092 円
平成31年度	40,679 人	5,509,329 円	5,509,329 円	0 円
令和2年度	30,312 人	5,649,973 円	5,563,933 円	86,040 円

評価項目		評価
1 市民の平等な利用の確保		S
① 平等な利用確保	・不当な利用制限や特定の利用者の優遇を行っていない	A
	・個々のサービスについて、対応者による格差は生じていない	S
2 公の施設の設置目的の効果的な達成		S
① 法令等の遵守	・条例、規則、基本協定、仕様書等に基づき、指定管理者の業務を適正に行っている	S
② 地域振興への貢献	・地域関係機関、ボランティア等との連携が図られている	S
	・地域の特性を活かした自主事業を実施している	-
③ 広報活動の実施	・施設情報の提供や自主事業のPRを積極的に行っている	S
④ 施設の利用促進	・施設の利用促進に向けた効果的な取組を行っている	A
⑤ サービスの向上	・利用者に対するサービス向上の取組がなされている	S
3 効率的な管理		S
① 施設・備品管理	・建物・設備が適切に管理され、安全性と良好な機能が保持されている	A
	・備品が適切に管理され、利用状況の把握も適切に行われている	S
	・市民が快適に利用できるよう、清潔に保たれている	S
② 環境への配慮	・電気・水道等の効率的利用や廃棄物の抑制など省エネ対策に取り組んでいる	A
4 適正かつ確実な管理を行う能力		S
① 適正な人員配置	・施設の管理運営のため、適正な人員配置が行われている	A
② 接遇・研修・苦情対策	・利用者に対する職員の接遇、マナーは適切である	S
	・職員の資質の向上のため、研修等を行っている	S
	・アンケート等、寄せられた意見や苦情に適切に対応できる仕組みが整っている	S
③ 安全管理・危機管理	・事故防止のための取組を行っている	A
	・事故や災害時等の緊急時に迅速かつ適切に対応できるよう責任体制やマニュアル等が整備されている	S
	・マニュアル等に基づき防災訓練等を定期的に行っている	S
④ 個人情報の保護	・個人情報保護の重要性を認識し、適正な取扱いが図られている	S
⑤ 収支状況	・収支計画に基づいた適切な執行を行っている	A
	・文書、帳簿、通帳の管理を適切に行っている	A
5 その他【管理関係】		A
① 金庫の管理	・金庫と施錠に関して、適切に管理されている	A
② 施設の鍵の管理	・施設の出入口の鍵が適切に管理されている	A
③ 現金取扱い	・現金の取扱いに関して、適切に管理されている	A
総合評価		S

評価に係る特記事項
 (2の②の自主事業の実施項目について、今回はコロナの影響により、コミセンまつり等を開催出来なかったことから、評価項目対象外とします。)

1については、利用者満足度調査結果について、高評価を得ており、市民の平等な利用機会が確保されている。
 2については、新型コロナウイルス感染症のため自主事業の「コミセンまつり」や地域と連携した行事の多くが中止となったが、「コミセンだより」の発行や、中央地域づくり協議会の事業に協力し、インターネットを活用した施設情報の提供を行い施設利用促進に努めている。
 3については、施設点検記録簿・備品管理台帳を作成し管理が適切に行われている。受付時に利用者への節電の呼びかけや節電の館内掲示の取組も行われており効率的な管理が認められる。
 4については、防災講習を独自で企画実施するなど、スタッフの意識向上が認められるほか、収支状況および関係書類の管理も適切と認められる。個人情報管理の重要性についても十分共有されている。
 5については、金庫の管理および施設の鍵は管理簿を作成し適切に管理が行われている。また、必要最低限の現金を適切に取り扱っている。
 以上のことから、指定管理者として総合的に適切に管理・運営が行われたものと評価している。今後も地域自治活動の拠点として、安定した施設運営に取り組むよう期待する。